

キャラクター名  
梅塚 仁(うめづか じん)

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル ウロボロス	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
オプション		年齢	17歳	性別	男
覚醒	生誕	衝動	解放	初期侵食率	41 %
出自	犯罪者の子	経験	UGNへの忠誠	邂逅	慕情

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	64
肉体	3	1	2			6	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	1	0	0			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	5		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
骨の剣	白兵	6r+4	6	+Lv+5		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
----	----	----	----	----	----

所持品	
思い出の一品: 留め具の壊れたネックレス	
コネ: UGN幹部	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
Dロイス: 屍人(ガイゲット)	P	N		
ブラッドソード	P 執着	N 悔悟		
フィー	P 幸福感	N 食傷		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
異形の刻印	6	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	最大HP+Lv*5 基優+3							
螺旋の悪魔	5	3	セット	至近	自身	自動	-	
効果:	BS暴走 R間加組み合わせた攻撃+Lv*3							
異形の転身	2	5	インジ	至近	自身	自動	-	
効果:	戦闘移動 離脱可 1汎Lv回							
骨の剣	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	素手のデータ変更							
CR:IGザイル	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-Lv							
オールレンジ	5	2	Xジャー	武器	-	対決	-	
効果:	判D+Lv個							
死神の制度	3	4	Xジャー	武器	単体	対決	リミット	
効果:	《オールレンジ》組み合わせ 攻+Lv*5 1汎1回							
原初の黒:災いの魔剣	5	2d10+2	Xジャー	武器	単体	対決	100↑	
効果:	基優+3 HPを1点まで失う。白兵攻撃力+[-HP<Lv*10] 1汎1回							
原初の赤:ペネトレイト	1	3+1	Xジャー	武器	-	対決	-	
効果:	装甲無視 判D-1							
混色の氾濫	1	2	Xジャー	-	範囲(選択)	-	-	
効果:	原初の〇と組み合わせ 対象変更 1汎Lv回							
まだらの紐	1	1	Xジャー	視界	※	※	-	
効果:	追跡する 必要なら(RC)対抗							
鍵いらすの歩み	1	-	Xジャー	至近	自身	-	-	
効果:	液化化してすり抜け出来ちゃう							
闇夜の烏	★							
効果:								

\*性格\*  
からっとした男子高校生。誰にでもタメ口。軽い、と思われがちだが、結構繊細。人とは浅く、広く付き合っていたいから、近付きすぎる前に自分から離れる。ただ、どんな関係であろうと、チームであれば、守ることにに対しては全力になる。それが己の役割だから。

任務およびUGNに対して絶対忠誠を誓っている。誓わされている、という方が実は正しいのだが、誓っている理由の1つに姫宮由里香の存在がある。彼は姫宮由里香に心底憧れ、惚れていた。(もうだいたい昔の話である)

常にロケットネックレスを着けている。ブラッドソード時代の貰い物だとか。

PC1のことは、友人だと思っているが、ブラッドソード脱退の1件から少々気まずいと感じている(表には出さない)。

「俺は誰に対してもこんな感じもんでな。悪いな。」

…というのが“とある事件”までの彼である。事件後の彼は何一つ守れなかった後悔から、がむしゃらに前で戦うことを好むようになる。また人付き合いの浅さに拍車がかかっている。…だが、何かと放っておけない性格らしい。

死に場所を探す死神は今日も死ねない。だって、すでに屍なのだから。

\*経歴\*  
両親は仁が小さい頃にオーヴァードの能力に目覚め、その能力を悪用して、詐欺や強盗殺人などを行っていた。オーヴァードであるかどうか以前に屑者であった